

さい時の日曜學校時代の記憶がとめどもなく私の心に湧いて來ました。

細心の注意と各方面からの材料配當の具合や形式を集められ七年度より新しい形式の保育案によるべく準備であつた濟美幼稚園の遠山保姆に御眼にかゝりました。

廣島に昔から行はれてゐる律動遊戲に土川氏のを加味して行つてゐなさる事や大阪江戸堀幼稚園の膳氏に學んだと申されて自然物利用のいろ／＼の製作品をみせていただきました。

廣島には此外に私立岸本保母の經營されてゐる廣島幼稚園と更に無得幼稚園といふ私立幼稚園との二つがある。無得幼稚園長の御話によると大に干渉主義を取つた年もありましたが今年は大に放任主義を取つてゐますといつて居られました。

True freedom is defined as "The opportunity for the fullest development of the total self."

自由と干渉と放任と……私達はどれを撰べばよいでせうか。(終)

雨日物語

五月雨が細かく桐の葉上を撫で、庭一面がしつとりとなると一時に涼風が起つてまゐります年寄は耐らなくなつてお茶を立てる氣になります。子供は駈け出して石でも弄らうとするのが自然です『雨が降つてゐるから』と子供を制する親よりも『雨が降つてゐるのに』なせ出して呉れないと怨む子供の方がより以上自然ではあるまいか——お茶ノ水高師附屬幼稚園長倉橋文學士は語を續けて——雨を避ける親の心は宜しくないと思ひます何故雨を利用して子供を教育するやうに進まれないのでせうか平素は家事交際色々のことに子供を顧みる暇もない忙しい母親達に取つて洗濯も張物も出來ず又外出にも困難な雨の日は誠によい機會ではないか、それで今日は一日子供を相手に此間から焼て置かうと思つたかき餅を取出して澤山に焼いとかうと火を熾して網をかけます子供は母の膝近く寄つて餅の焼けるのを待ちませうむかしむかしと焼き乍ら好きな話をして聞かせます』

たので御座います。間違つてゐるといふことは事實にいたしましたも子供の自然觀こそ誠に偉大なるものでは御座いますまいか。

此の様な純自然性の幼兒の保育者といたしまして私共の重い責任をかへり見ますればそも如何なる感じがいたしませうか。

私共の天職といたしまして幼兒と自然、自然と保育といふことを考へまして私共が自然に對して徹底的の理解と其賜物に對して大なる尊敬とにあらがれを持たねばならんと存じます。

亦に染めるも青に染めるも私共の自由といたしますれば保育者として持つ私共の自然觀はより純眞により徹底的に自己をかへり見なければならぬいと存じます。一つの木一つの草にも情を別つやうなゆかしい心根にこの大きな使命を果したいと常々心掛けてゐる次第で御座います。

今日のおごそかなる御祭典に臨みまして崇高なる先生の御人格にあこがれまして教への一端を述べて私共將來の修養の記念と致度いと存じます。

終りに何卒皆様方もこの偉大なる尊敬すべきフーベル先生に就て益々御研究遊ばされんことを切に御望み申し上げます。

（二六三頁兩日物語の續）

子供は餅よりも話の方へ釣り込まれて了ふでせう不圖來客が出来たり用事に起たねばならぬ事も出来たら其れが又何より結構です『お花さんお餅を見てゐて頂戴焦さないやうにネ』母に代つて餅を見守る幼な兒の心理其の注意の働きのモンテソリー以上の教育ではありませんか私は左様思ひます日本では六月の中旬から梅雨と云ふものがあるに定つてある此の雨に對し母親たり教育者たるものは何事か豫め計畫を立て、置かねばならぬ如何でせう此様な幼稚園などで火鉢と網を準備して彼のかき餅焼きを始めたら——園長は笑ひながら——其れとも軍艦が天水を取るやうに其れまで行かぬとも屋根中へ落ちる水を樋か何かで一處に集め水車を廻しコト／＼杵でも打たして見せたら子供は如何に喜ぶでせうか——詩的のやうな園長の談話は盡きさうもなかつた。（國民新聞）